

2012年 も あと半分 パンダも生まれたしオリンピックだし さわうたも盛り上がって行きますよ～

さわごえ君 第21話
「ラジオから」



つれづれ
らた徒然
No.6

歌の勘違い②

卒業式定番ソングの思い出



まだ「先生」が尊敬・敬愛の対象だった頃

その少年が生まれたのは1946（昭和21）年。終戦の翌年だった。彼が小学校に行く頃には戦後の民主主義教育への転換もかなり定着してきて、自由でおおらかな教育を受けてきたような気がする。

それでも、長幼の序は守らなければならない、一家の中の大黒柱である父は絶対的な権威、学校の先生は人生の師として敬わなければならないというのは「社会のきまり」として貫かれていた。当時は卒業式には在校生が「蛍の光」で別れを惜しみ、卒業生が「仰げば尊し」で社会へ出ても先生の恩は忘れませんと決意を述べたものだ。

先生のお宅の押し入れには立派な何かがある!?

先生というのは立派な存在で、住んでいる家も立派なものに違いないと信じてきたその少年は、卒業式シーズン

になると、居間の押し入れの戸をそっと開けて中を覗いたものだ。どうしてかという、「我が師」の家には「おし入れの庭」が広がっていて、その庭には「杉の戸」があって、それを「開けてぞ今朝は別れ行く」なんだから「仰げば尊し」と「蛍の光」はセットで歌われるものに違いなかったのだ。そして、その少年は茶箱だけしか入っていない我が家の押し入れを見て「ああ、うちは立派じゃないんだ」とため息をついたのだ。この文章の意味が分からない人は、さわうたでしみじみ考えてください。

「蛍の光」はスコットランド民謡「オールド・ラング・サイン」が原曲で1881(明治14)年、稲垣千穎作詞で小学校唱歌集収録曲。「仰げば尊し」は1884年の小学校唱歌。長い間スコットランド民謡と言われてきたが、2011年になってアメリカ曲であるとする新説が発表されたということ。

小島かおる & 平野壮 ライブ

7月14日(土) 19:00 開場 19:30 開演 2,000円 (詳細別紙)

さわうたなど歌の催しはカレンダー内の印でご確認ください (カレンダーが5週分になりました！)

<さわうたカレンダー>

太い数字=さわうた

..... =ふりうた

○ =プチコーラス

♡ =プチ・ボイトレロン

◇ =プチ・シャンソン

□ =AMANEライブ

2012 (H24) 年 7/8～8/11

日	月	火	水	木	金	土
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11